

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 10 月 19 日(土)

試合時間：13：20～

CC：井元 誠

U1：副島 亜紀子

U2：水間 光亮

日本経済大学	○ 81	22	—1st—	13	● 68	鹿屋体育大学
		21	—2nd—	16		
		26	—3rd—	21		
		12	—4th—	18		

第 1 クォーター

両チームこれまでの激戦を制し、互いに全勝で迎えた 1 巡目最終戦。開始早々、日経大 #13 喜多が 3P シュートが決めるも、鹿体大 #3 大串がすぐに 3P シュートを決め返す。勢いに乗りたい日経大は、#35 岡田を中心に展開し、#77 清本、#00 ダラーメがシュートを決める。対する鹿体大は、速いパスワークから、ドライブに切り込みシュートを狙うが、なかなか得点に繋ぐことができない。終盤、鹿体大 #14 森尾が 3P シュートを沈め点差を縮めるも、日経大 #36 杉と #10 神野の 3P シュートを許してしまい、22-13 と 9 点差の日経大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

勢いの止まらない日経大を止めようと、鹿体大は厳しいゾーンディフェンスを始めから仕掛けるも、日経大 #00 ダラーメの高さには勝てず、リバウンドを多くとられ、得点を許してしまう。残り時間 8：38、16 点差まで引き離された鹿体大は、たまたまタイムアウトを請求。タイムアウト後、少しでも追いつきたい鹿体大は果敢にゴールへと攻め、#38 國松のシュート、#24 田村の 3P シュートで点差を縮めていく。しかし、日経大は、#12 桑原のシュート、#13 喜多の 3P シュートでリードを譲らず、43-29、日経大リードのまま前半を終える。

第 3 クォーター

前半同様、ゾーンディフェンスでインサイドの守りを固める鹿体大だが、日経大 #00 ダラーメに後半最初の得点を奪われてしまう。その後は、両チームともに、厳しいディフェンスで一進一退の攻防が繰り広げられる。均衡が崩れたのは残り 4：10、日経大 #36 杉のスティールから #34 ニアンが速攻を決める。そのまま続けて、#36 杉が 3P シュートを決め日経大が勢いに乗る。その後、21 点差にまで広げられた鹿体大はタイムアウトを請求するも、流れを引き寄せることはできず、69-50、鹿体大 19 点のビハインドで最終クォーターへと入る。

第 4 クォーター

最終クォーターも序盤から激しい攻守の切り替えが展開される。鹿体大 #3 大串が鮮やかな 3P シュートを決めるも、日経大 #47 西田が決め返す。中盤に差し掛かると、鹿体大は #24 田村のシュート、#34 志鷹の 3P シュートで応戦し、フリースローで少しずつ点差を縮めていくも、日経大が大会 3 連覇中の意地を見せ、最後までコートを走り続けた日経大が、1 巡目を全勝で終えた。